

道の駅整備事業に関するアンケート結果について

市長公室
まちの魅力創造課

■アンケートの趣旨

本アンケート調査は、道の駅整備事業に関する市民や関係団体の意見を把握し、今後の事業の方向性を検討することを目的に実施したものです。

■アンケートの概要

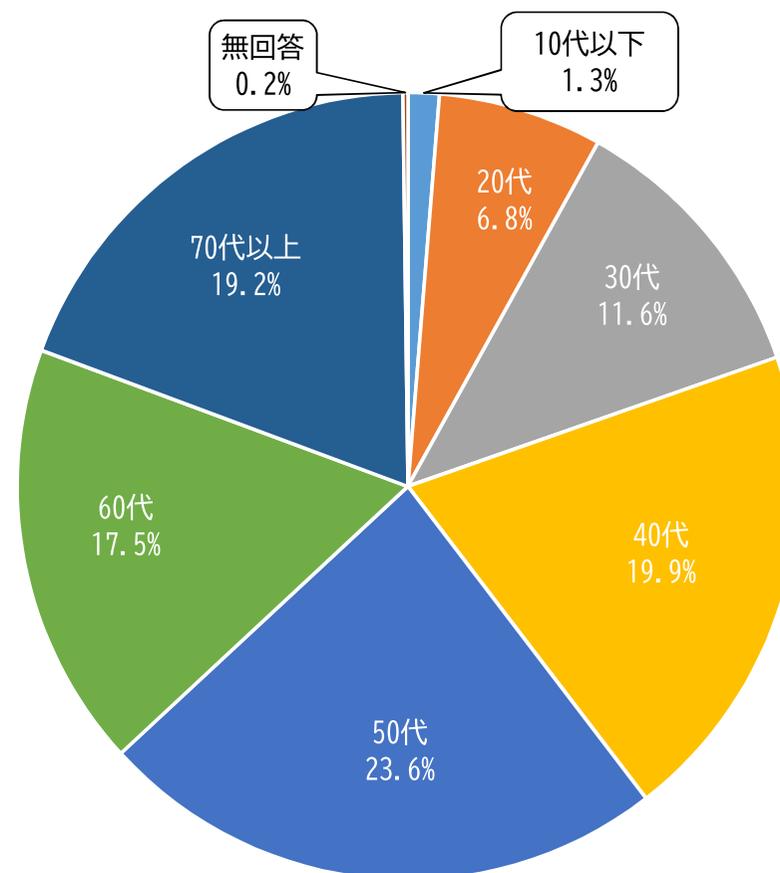
- ・実施期間 : 令和4年11月7日(月) ~ 令和4年12月28日(水)
- ・回答方法 : WEB(Googleフォーム)及びアンケート用紙
- ・回答数 : 1,711(WEB=1,446、用紙=265)

■アンケート結果の集計にあたっての注意事項

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問については、母数を有効回答数としているため、百分率の合計が100%を超えています。

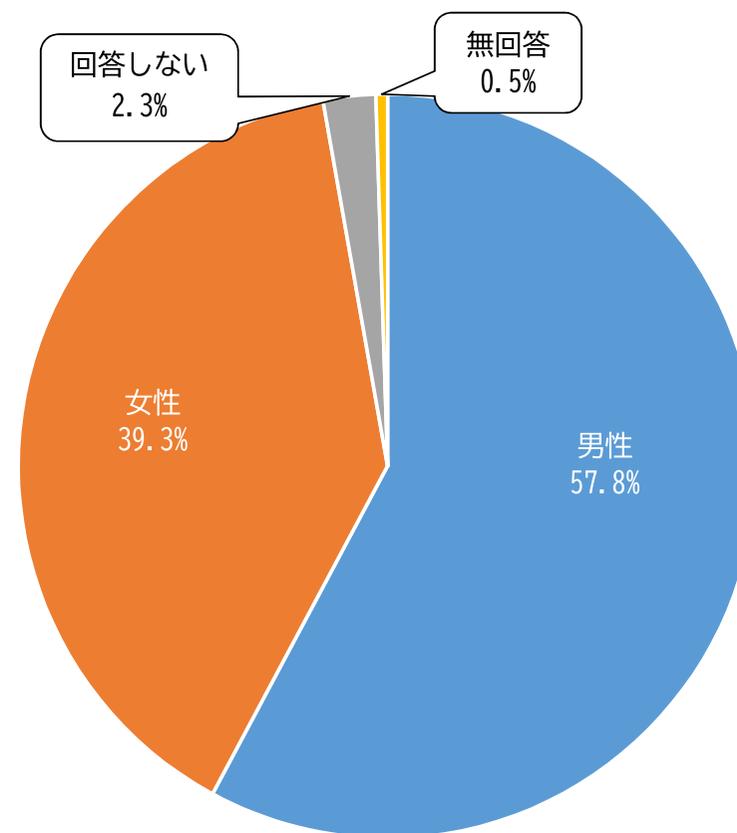
【問1】年代

選択肢	実数	割合
10代以下	23	1.3%
20代	116	6.8%
30代	198	11.6%
40代	340	19.9%
50代	403	23.6%
60代	299	17.5%
70代以上	328	19.2%
無回答	4	0.2%
合計	1,711件	100.0%



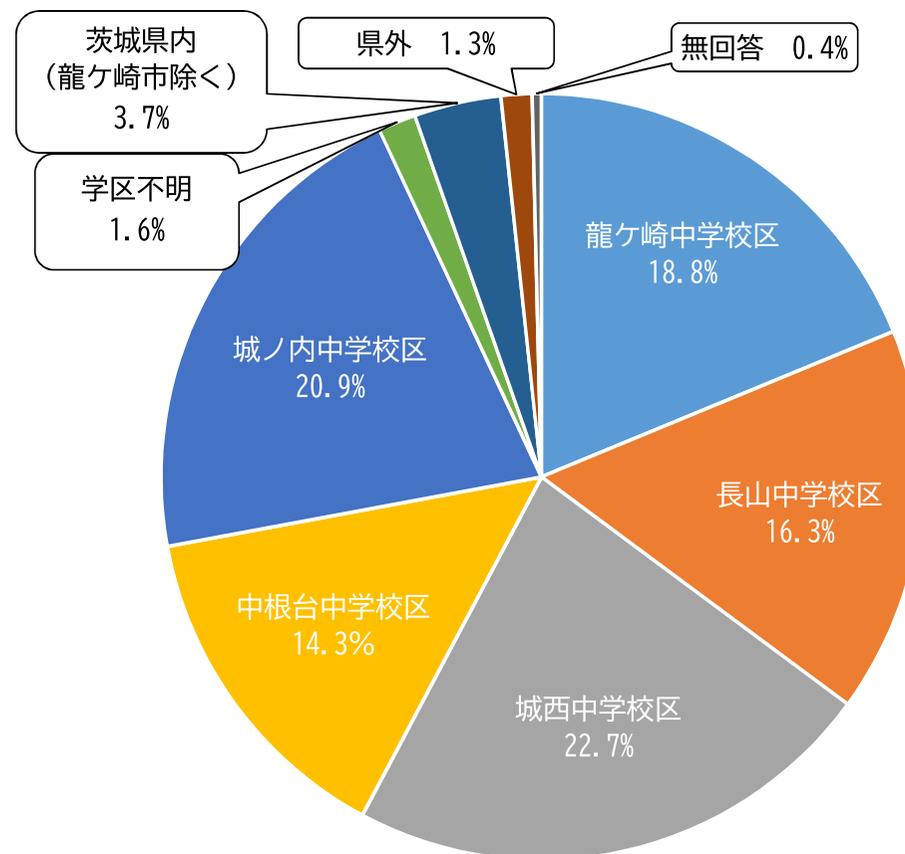
【問2】性別

選択肢	実数	割合
男性	989	57.8%
女性	673	39.3%
回答しない	40	2.3%
無回答	9	0.5%
合計	1,711	100.0%



【問3】居住地

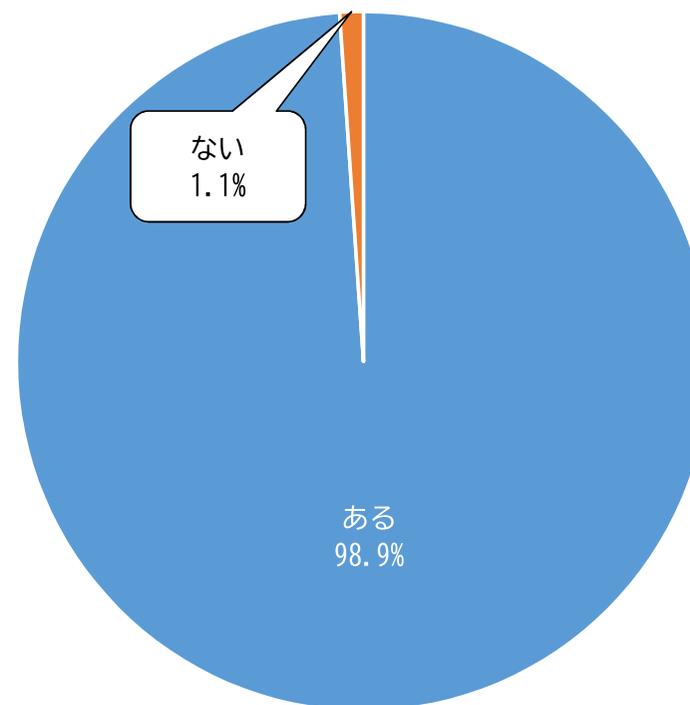
選択肢	実数	割合
龍ヶ崎中学校区	321	18.8%
長山中学校区	279	16.3%
城西中学校区	389	22.7%
中根台中学校区	244	14.3%
城ノ内中学校区	357	20.9%
学区不明	27	1.6%
茨城県内 (龍ヶ崎市除く)	64	3.7%
県外	23	1.3%
無回答	7	0.4%
合計	1,711	100.0%



【問4】 龍ヶ崎市へ来訪したことがありますか。

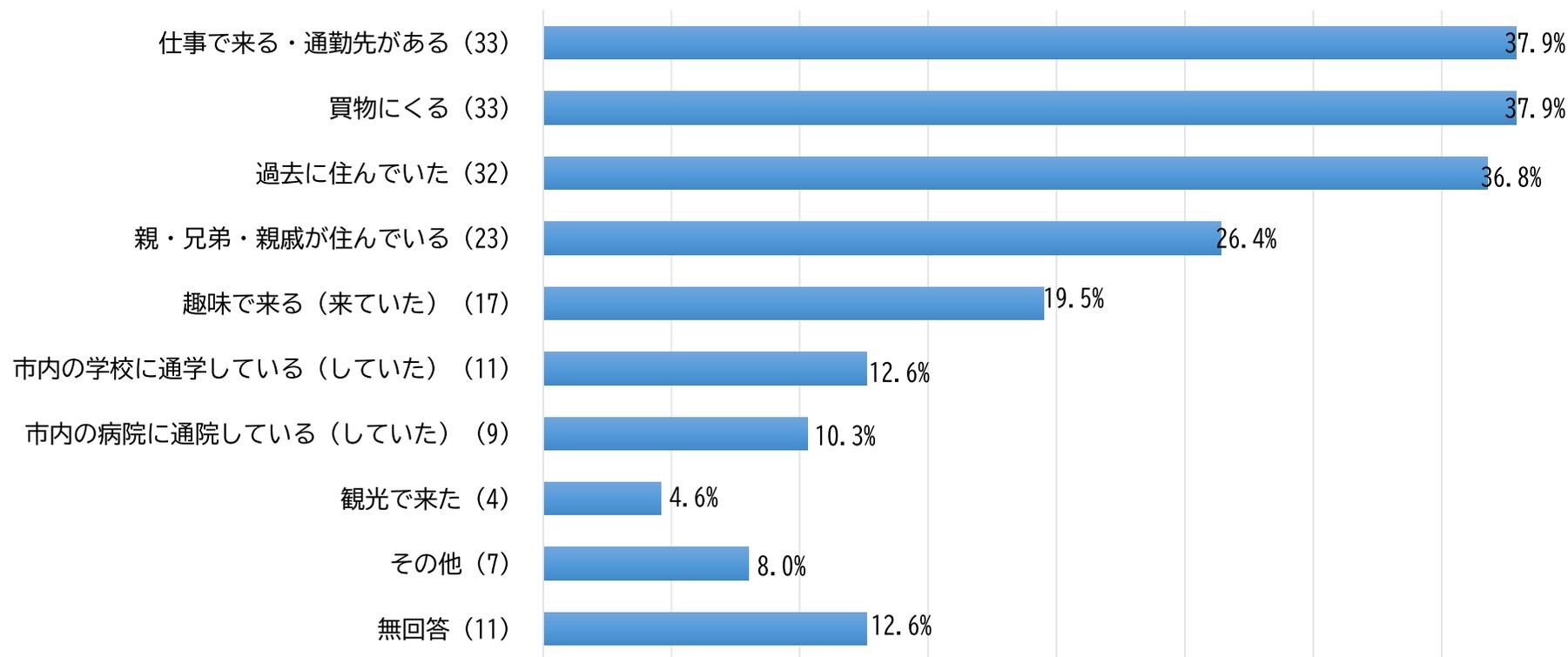
※【問3】「居住地」の質問に対して、「茨城県内（龍ヶ崎市除く）」、「県外」のいずれかを選択した87人の回答結果です。

選択肢	実数	割合
ある	86	98.9%
ない	1	1.1%
合計	87	100.0%



【問5】これまでの龍ヶ崎市への来訪理由（複数選択質問）

※【問4】「龍ヶ崎市へ来訪したことがありますか。」の質問に対して、「ある」を選択した86人の回答結果です。

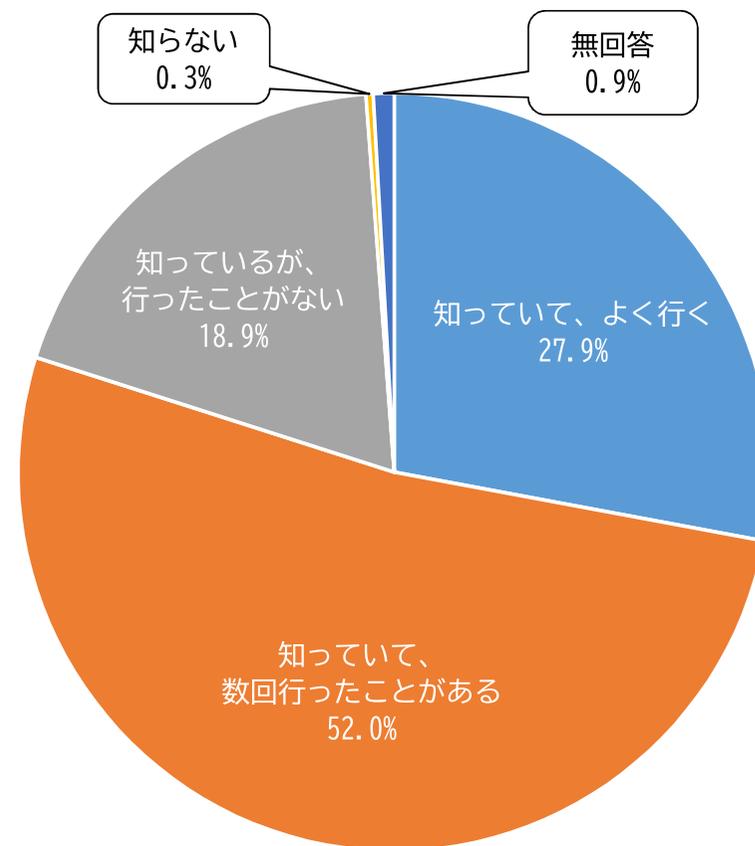


茨城県内（龍ヶ崎市除く）及び県外に住んでいる方の龍ヶ崎市への来訪理由については、「仕事で来る・通勤先がある」、「買物にくる」が37.9%で最も高く、次いで「過去に住んでいた」が36.8%、「親・兄弟・親戚が住んでいる」が26.4%の順になっています。

その他（7）の回答は、牛久沼の四季を撮っている（1）、お祭り（1）、夕陽を見に来る（1）、税務署に行く（1）、文化教室（1）、駅利用（1）、牛久方面などに向かう際に必ず経由する（1）となっています。

【問6】牛久沼をご存知ですか。また、行かれたことはありますか。

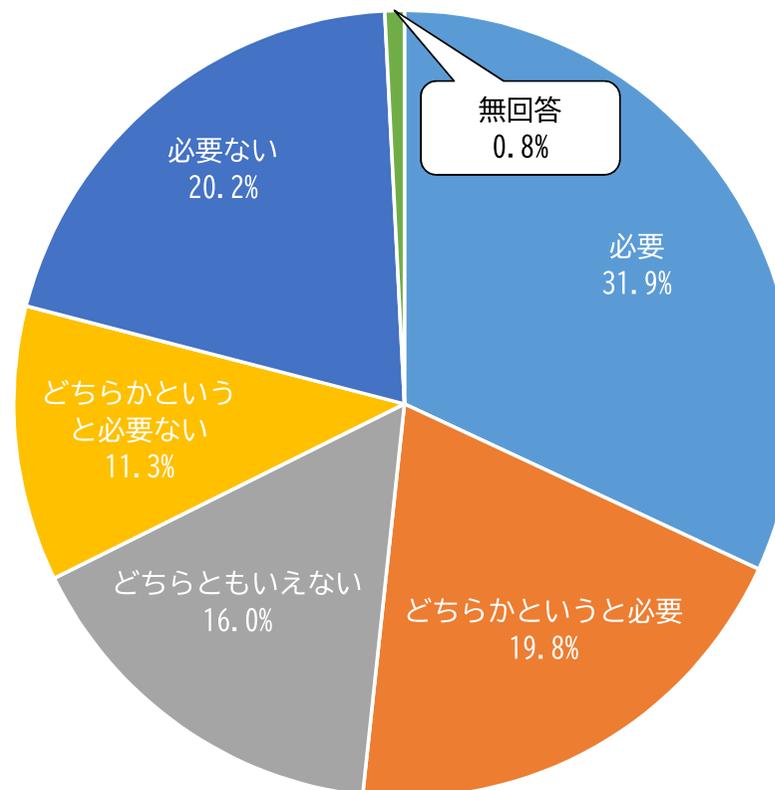
選択肢	実数	割合
知っていて、よく行く	477	27.9%
知っていて、数回行ったことがある	890	52.0%
知っているが、行ったことがない	324	18.9%
知らない	5	0.3%
無回答	15	0.9%
合計	1,711	100.0%



アンケート回答者のうち、牛久沼の認知度は、9割を超えており（98.8%）、一度でも訪問したことがある方は約8割（79.9%）となっています。

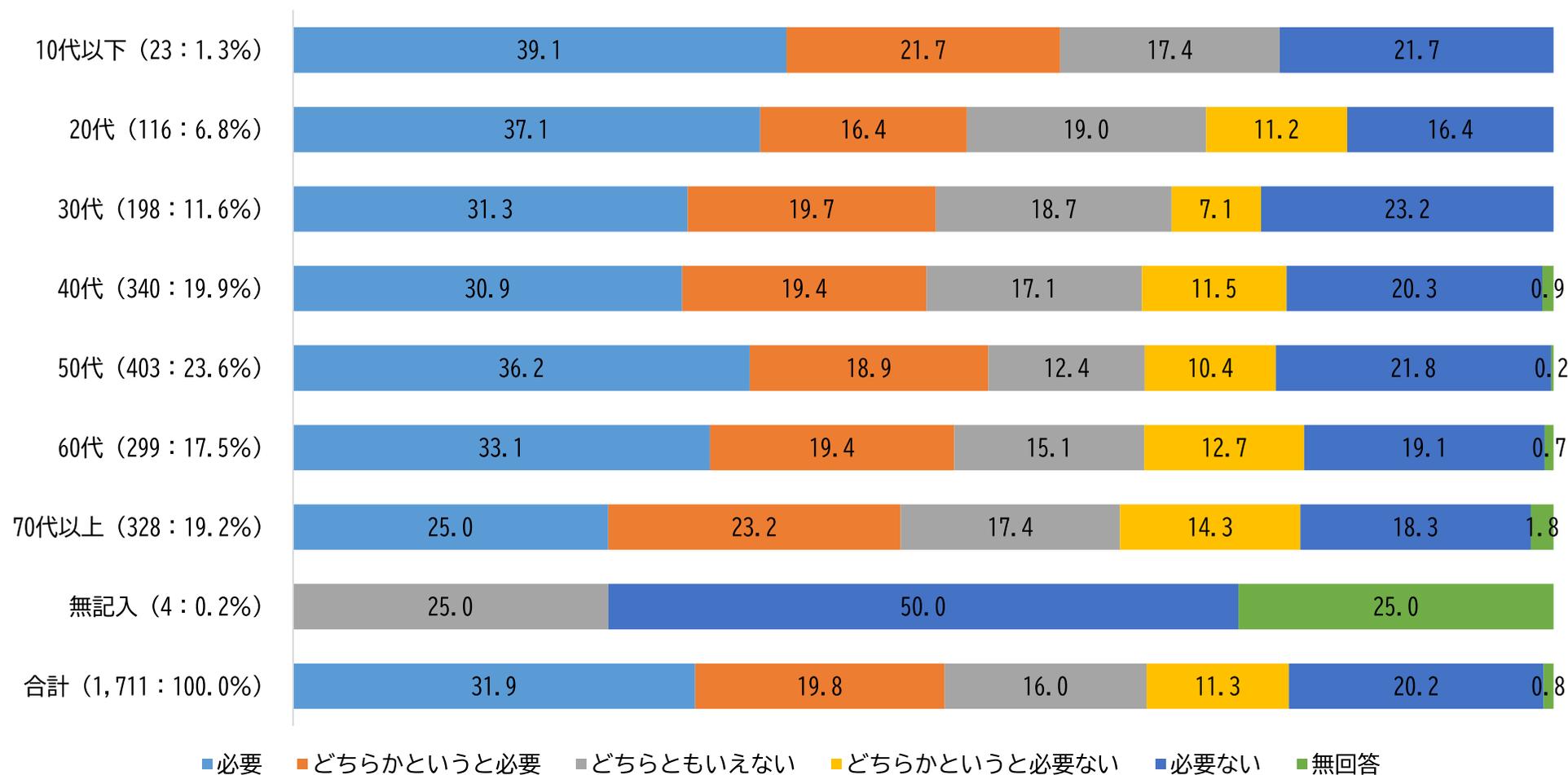
【問7】牛久沼の水辺環境を活用した にぎわいづくりは必要だと思いますか。

選択肢	実数	割合
必要	546	31.9%
どちらかという必要	339	19.8%
どちらともいえない	274	16.0%
どちらかという必要ない	193	11.3%
必要ない	346	20.2%
無回答	13	0.8%
合計	1,711	100.0%



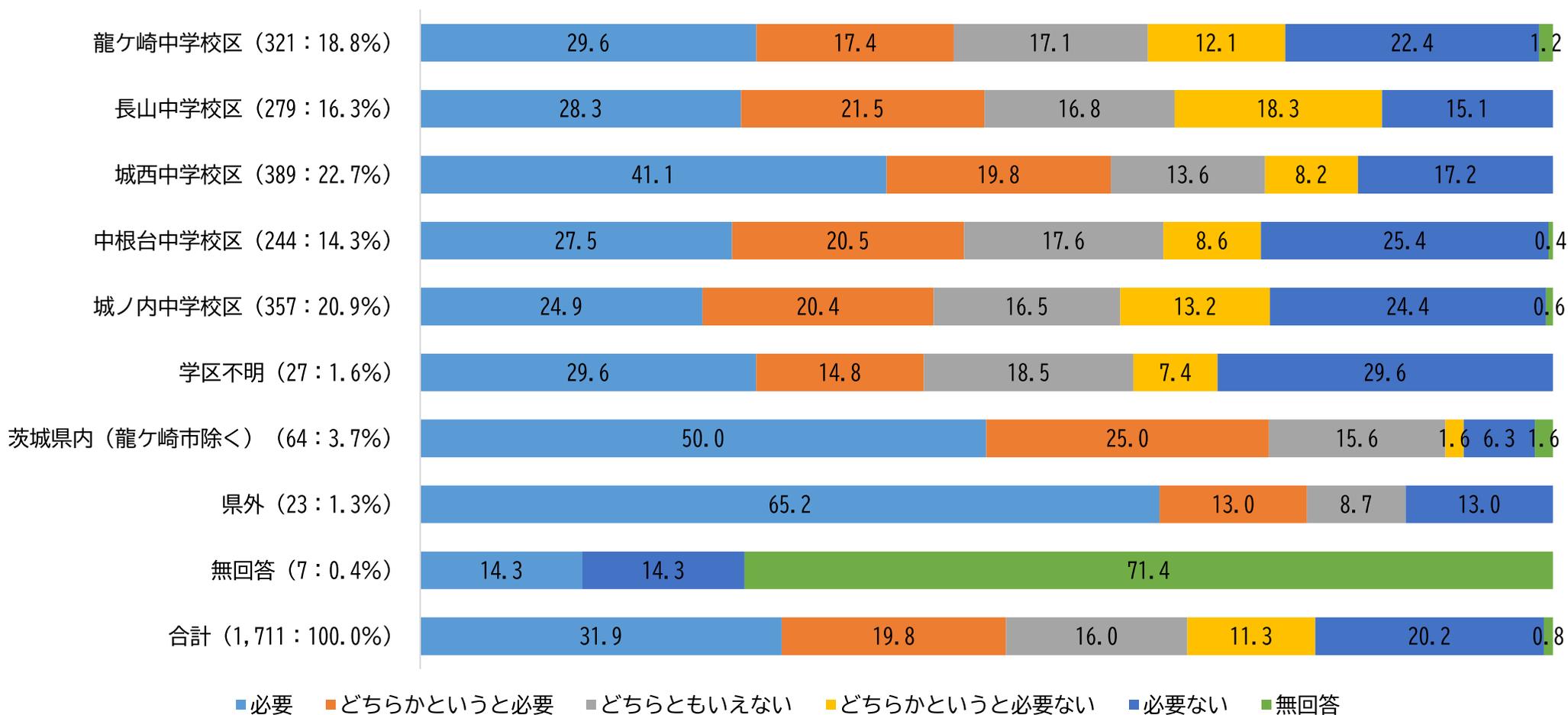
牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりの必要性について、「必要」、「どちらかという必要」の合計値が51.7%、「どちらかという必要ない」、「必要ない」の合計値が31.5%となっており、「必要」、「どちらかという必要」が20.2ポイント高くなっています。

【クロス集計①】 牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりの必要性 × 年代



年代別にみると、「必要」、「どちらかという必要」の合計値が、10代以下（60.8%）で6割を超えており、他の年代と比べて高くなっています。一方、「どちらかという必要ない」、「必要ない」の合計値は、70代以上（32.6%）が最も高く、次いで50代（32.2%）、40代・60代（31.8%）の順になっています。

【クロス集計②】 牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりの必要性 × 居住地

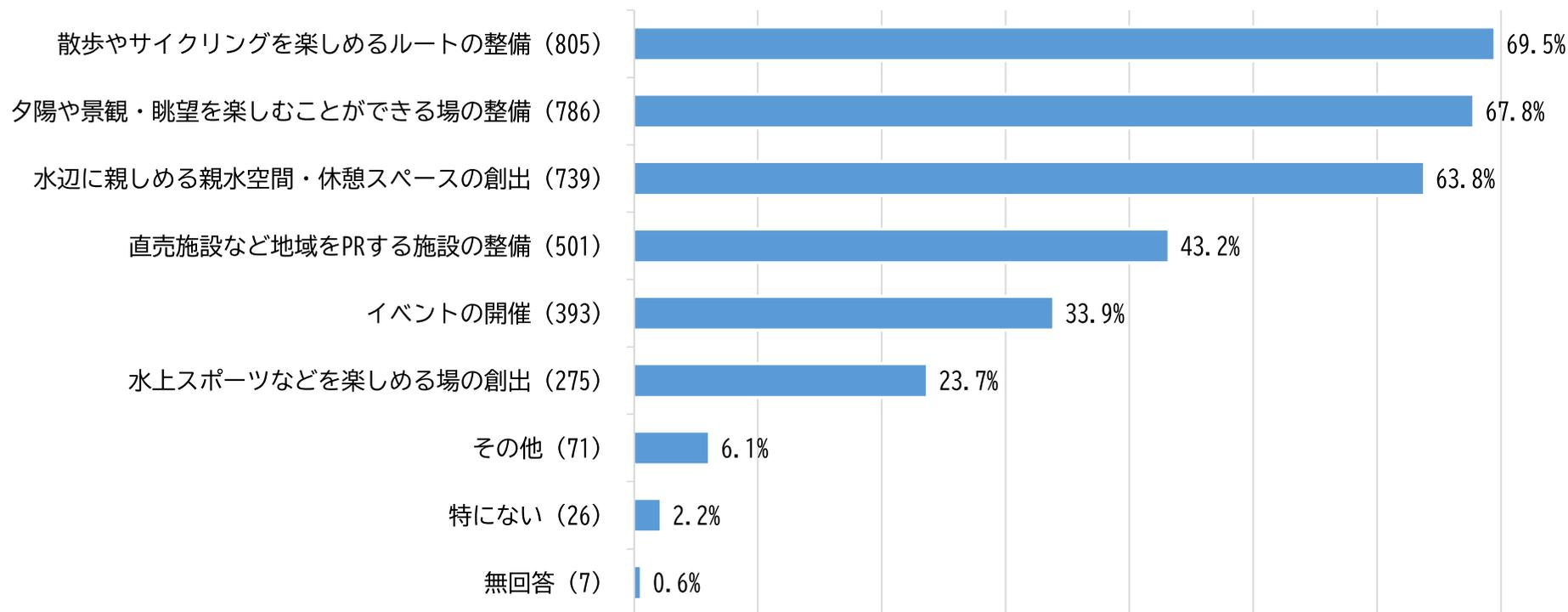


居住地域別にみると、「必要」、「どちらかという必要」の合計値は、県外 (78.2%) が最も高く、次いで茨城県内 (龍ヶ崎市除く) (75.0%) となっています。

市内の居住地域別にみると、「必要」、「どちらかという必要」の合計値は、城西中学校区 (60.9%) で6割を超えており、他の居住地域と比べて高くなっています。一方、「どちらかという必要ない」、「必要ない」の合計値は、城ノ内中学校区 (37.6%) が最も高く、次いで龍ヶ崎中学校区 (34.5%)、中根台中学校区 (34.0%) の順になっています。

【問8】牛久沼のにぎわいには、どのような取組が必要だと思いますか。（複数選択質問）

※【問7】「牛久沼の水辺環境を活用した にぎわいづくりは必要だと思いますか。」の質問に対して、「必要」、「どちらかという必要」、「どちらともいえない」のいずれかを選択した方（n=1,159）の回答結果です。



牛久沼のにぎわいづくりに必要な取組内容については、「散歩やサイクリングを楽しめるルートの整備」が69.5%で最も高く、次いで「夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備」が67.8%、「水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出」が63.8%の順になっています。

その他（71）の回答は、キャンプスペース・グランピングの整備（8）、ペットと過ごせる空間の整備（7）、温浴施設の設置（6）、牛久沼の水質改善（5）、遊具の設置（3）、ランニングコースやその拠点の整備（3）、釣りの振興（3）、花火大会の開催（2）、遊覧船の設置（2）、季節を楽しめる場の整備（2）、牛久沼や近隣の歴史を紹介（2）、車中泊スペースの整備（1）、BBQスペースの整備（1）、龍ヶ崎市駅からのアクセスルートの整備（1）などとなっています。

【クロス集計③】 牛久沼のにぎわいづくりに必要な取組（複数選択質問） × 年代

※年代別の順位表（上位3つ）

年代	第1位	第2位	第3位
10代以下 (18)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (61.1%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (50.0%)、散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (50.0%)、イベントの開催 (50.0%)	—
20代 (84)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (67.9%)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (59.5%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (56.0%)
30代 (138)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (65.9%)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (60.9%)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (58.7%)
40代 (229)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (69.4%)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (68.1%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (60.7%)
50代 (272)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (75.0%)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (71.0%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (66.9%)
60代 (202)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (78.7%)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (70.3%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (68.8%)
70代以上 (215)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (71.6%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (61.4%)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (60.9%)
無回答 (1)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (100.0%)	—	—
全体 (1,159)	散歩やサイクリングを楽しむルート の整備 (69.5%)	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 (67.8%)	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 (63.8%)

年代別にみると、全体で3位の「水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出」が、30代では1位になっています。また、全体で5位の「イベントの開催」が、10代以下では2位になっています。

【クロス集計④】 牛久沼のにぎわいづくりに必要な取組（複数選択質問） × 居住地

※居住地域別の順位表（上位3つ）

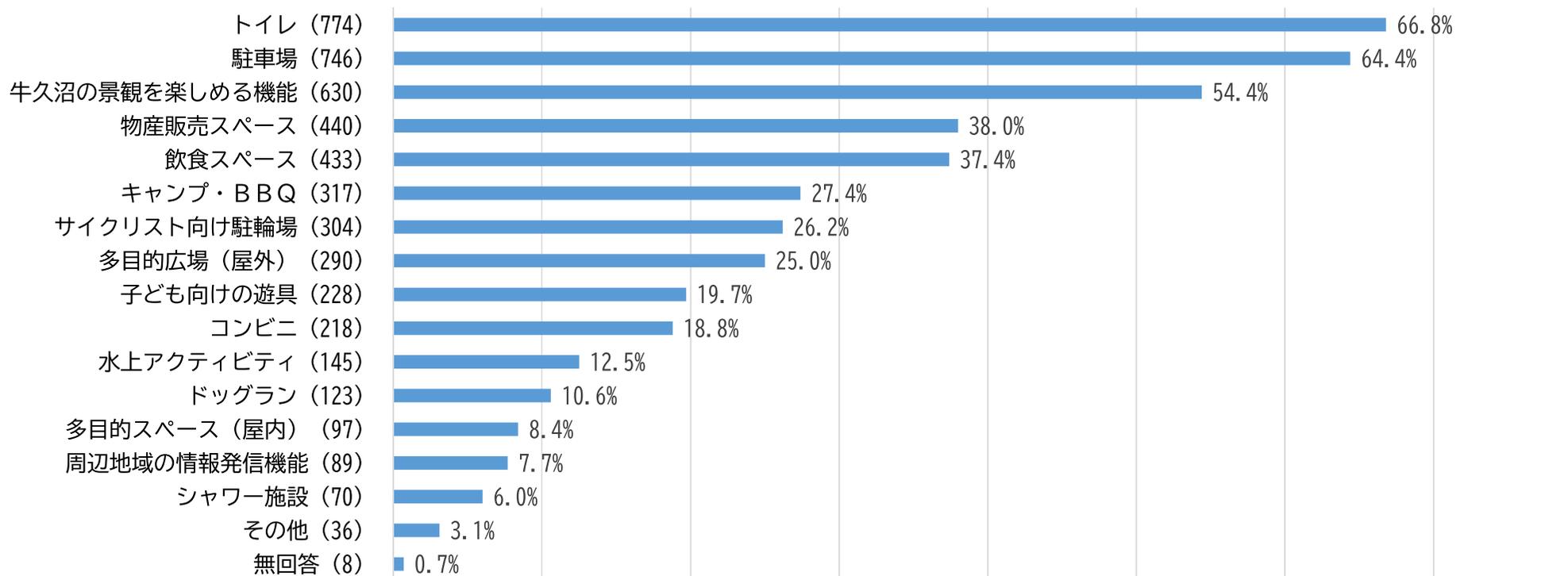
居住地	第1位	第2位	第3位
龍ヶ崎中学校区（206）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （68.4%）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （64.6%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （62.1%）
長山中学校区（186）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （72.6%）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （72.0%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （66.7%）
城西中学校区（290）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （68.3%）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （65.5%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （64.1%）
中根台中学校区（160）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （75.0%）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （67.5%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （61.9%）
城ノ内中学校区（221）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （71.0%）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （69.7%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （63.3%）
学区不明（17）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （70.6%）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （58.8%）／散歩やサイクリングを楽しむルートの整備（58.8%）	—
茨城県内（龍ヶ崎市除く） （58）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （65.5%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （62.1%）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （56.9%）／直売施設など地域をPRする施設の整備（56.9%）
県外（20）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （75.0%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （70.0%）／夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備（70.0%）	—
無回答（1）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （100.0%）	—	—
全体（1,159）	散歩やサイクリングを楽しむルートの整備 （69.5%）	夕陽や景観・眺望を楽しむことができる場の整備 （67.8%）	水辺に親しめる親水空間・休憩スペースの創出 （63.8%）

居住地域別にみると、全体で1位の「散歩やサイクリングを楽しむルートの整備」が龍ヶ崎中学校区、城西中学校区、中根台中学校区、県外では1位になっています。

また、全体で4位の「直売施設などPRする施設の整備」が、茨城県内（龍ヶ崎市除く）では3位になっています。

【問9】牛久沼のにぎわいづくりのために あったらよいと思う機能（必要な施設）をお答えください。 （複数選択質問）

※【問7】「牛久沼の水辺環境を活用した にぎわいづくりは必要だと思いますか。」の質問に対して、「必要」、「どちらかという必要」、「どちらともいえない」のいずれかを選択した方（n=1,159）の回答結果です。



牛久沼のにぎわいづくりにあたらよいと思う機能については、「トイレ」が66.8%で最も高く、次いで「駐車場」が64.4%、「牛久沼の景観を楽しめる機能」が54.4%、「物産販売スペース」が38.0%、「飲食スペース」が37.4%の順になっています。

その他（36）の回答は、温浴施設・スパ（3）、釣り・レンタルボート（3）、キッチンカー（2）、車中泊できる機能（1）、バイク用駐輪場（1）、農業体験・歴史体験（1）、散歩道、自転車道（1）、夏場に日差しから逃げられる場所（1）、図書館（1）などとなっています。

【クロス集計⑤】 牛久沼のにぎわいづくりにあったらよいと思う機能など（複数選択質問） × 年代

※年代別の順位表（上位5つ）

年代	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10代以下 (18)	トイレ (61.1%) / 飲食スペース (61.1%)	—	コンビニ (44.4%)	物産販売スペース (38.9%) / 牛久沼の景観を楽しめる機能 (38.9%)	—
20代 (84)	駐車場 (66.7%)	トイレ (56.0%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (51.2%)	飲食スペース (48.8%)	キャンプ・BBQ (38.1%)
30代 (138)	トイレ (59.4%)	駐車場 (56.5%)	子ども向けの遊具 (51.4%)	物産販売スペース (44.9%)	キャンプ・BBQ (41.3%)
40代 (229)	トイレ (65.9%)	駐車場 (61.1%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (51.5%)	飲食スペース (42.4%)	物産販売スペース (41.9%)
50代 (272)	駐車場 (66.9%)	トイレ (63.6%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (61.8%)	物産販売スペース (42.6%)	飲食スペース (40.8%)
60代 (202)	駐車場 (73.8%)	トイレ (71.8%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (63.4%)	物産販売スペース (37.1%)	飲食スペース (31.2%)
70代以上 (215)	トイレ (76.7%)	駐車場 (62.8%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (51.6%)	多目的広場（屋外） (35.3%)	サイクリスト向け駐輪場 (32.6%)
無回答 (1)	—	—	—	—	—
全体 (1,159)	トイレ (66.8%)	駐車場 (64.4%)	牛久沼の景観を楽しめる機能 (54.4%)	物産販売スペース (38.0%)	飲食スペース (37.4%)

年代別にみると、全体で5位の「飲食スペース」が10代以下で1位に、20代・40代で4位になっています。また、全体で6位の「キャンプ・BBQ」が、20代・30代では5位になっています。全体で7位の「サイクリスト向け駐輪場」が、70代以上では5位になっています。さらに、全体で9位の「子ども向けの遊具」が、30代では3位になっています。

【クロス集計⑥】 牛久沼のにぎわいづくりにあったらよいと思う機能など（複数選択質問） × 居住地

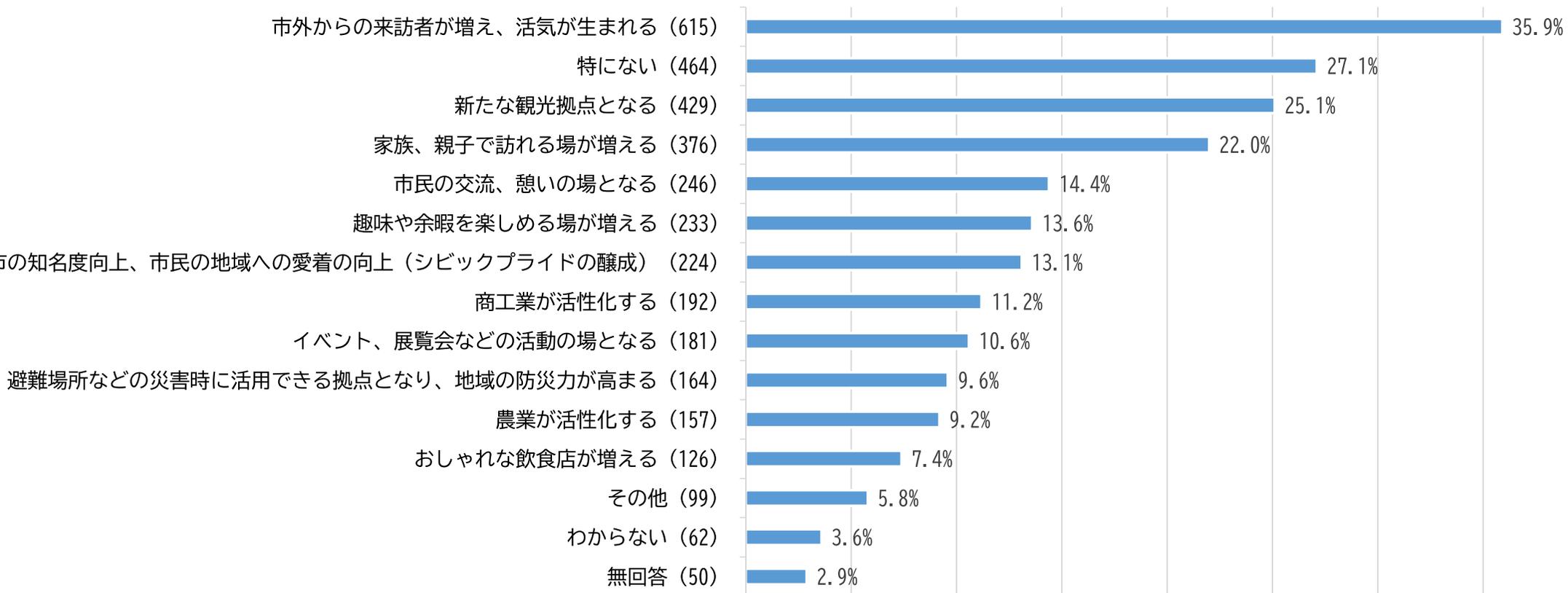
※居住地域別の順位表（上位5つ）

居住地	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
龍ヶ崎中学校区（206）	トイレ（67.0%）	駐車場（66.0%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（49.5%）	飲食スペース（34.0%）	物産販売スペース（32.5%）
長山中学校区（186）	トイレ（67.2%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（65.6%）	駐車場（62.4%）	飲食スペース（36.0%）	物産販売スペース（32.3%）
城西中学校区（290）	トイレ（65.2%）	駐車場（60.0%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（55.2%）	物産販売スペース（41.4%）	飲食スペース（40.3%）
中根台中学校区（160）	駐車場（70.0%）	トイレ（69.4%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（57.5%）	飲食スペース（36.9%）	物産販売スペース（33.1%）
城ノ内中学校区（221）	駐車場（67.0%）	トイレ（65.6%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（51.1%）	物産販売スペース（41.2%）	キャンプ・BBQ（35.3%）
学区不明（17）	トイレ（64.7%）	飲食スペース（58.8%）	駐車場（47.1%）	サイクリスト向けの駐輪場（35.3%）	物産販売スペース（29.4%） ／牛久沼の景観を楽しめる機能（29.4%）
茨城県内（龍ヶ崎市除く）（58）	トイレ（69.0%）	駐車場（62.1%）	物産販売スペース（55.2%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（43.1%）	飲食スペース（37.9%）
県外（20）	駐車場（80.0%）	トイレ（70.0%）	飲食スペース（60.0%）	物産販売スペース（55.0%） ／牛久沼の景観を楽しめる機能（55.0%）	—
無回答（1）	トイレ（100.0%）／物産販売スペース（100.0%）／多目的スペース（屋内）（100.0%）	—	—	—	—
全体（1,159）	トイレ（66.8%）	駐車場（64.4%）	牛久沼の景観を楽しめる機能（54.4%）	物産販売スペース（38.0%）	飲食スペース（37.4%）

居住地域別にみると、全体で4位の「物産販売スペース」が、茨城県内（龍ヶ崎市除く）で3位になっています。また、全体で5位の「飲食スペース」が、県外では3位になっています。さらに、全体で6位の「キャンプ・BBQ」が、城ノ内中学校区では5位になっています。

【問10】龍ヶ崎市に道の駅が整備されるとしたら、どのような効果を期待しますか。（複数選択質問）

※回答者（n=1,711）の回答結果です。

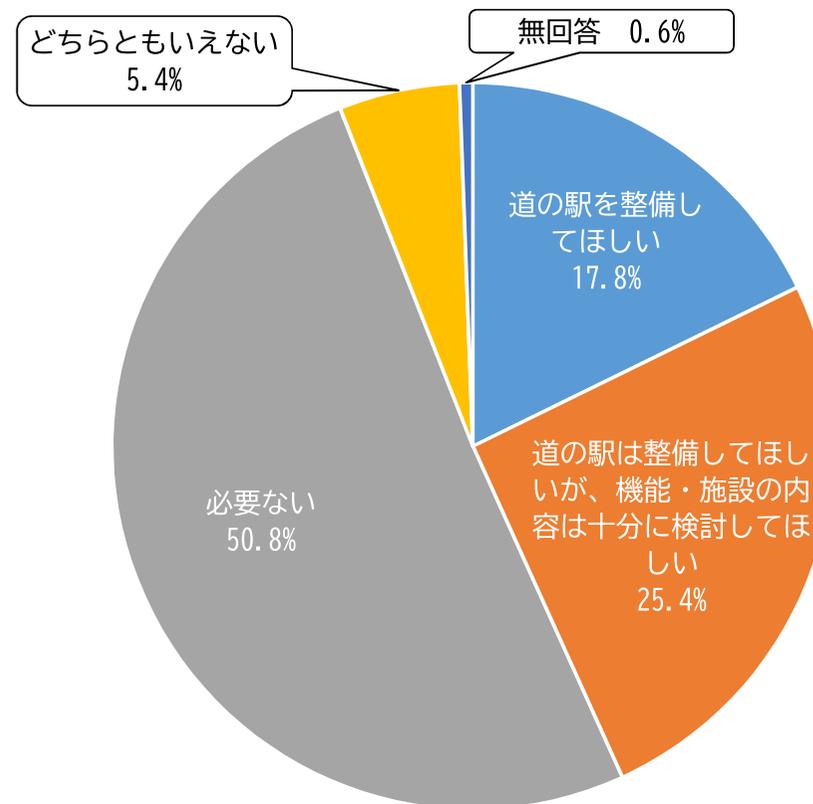


道の駅が整備されるとしたら、どのような効果を期待するかについては、「市外からの来訪者が増え、活気が生まれる」が35.9%で最も高く、次いで「特にな」が27.1%、「新たな観光拠点となる」が25.1%、「家族、親子で訪れる場が増える」が22.0%の順になっています。

その他（99）の回答は、道の駅はいらない（32）、効果なし（19）、財政負担の増（13）、環境破壊・そのままでよい（8）、交通渋滞（6）、市の収益が増える（2）、美味しい野菜が手に入る（1）、牛久沼の認知度アップ（1）、雇用の増加（1）などとなっています。

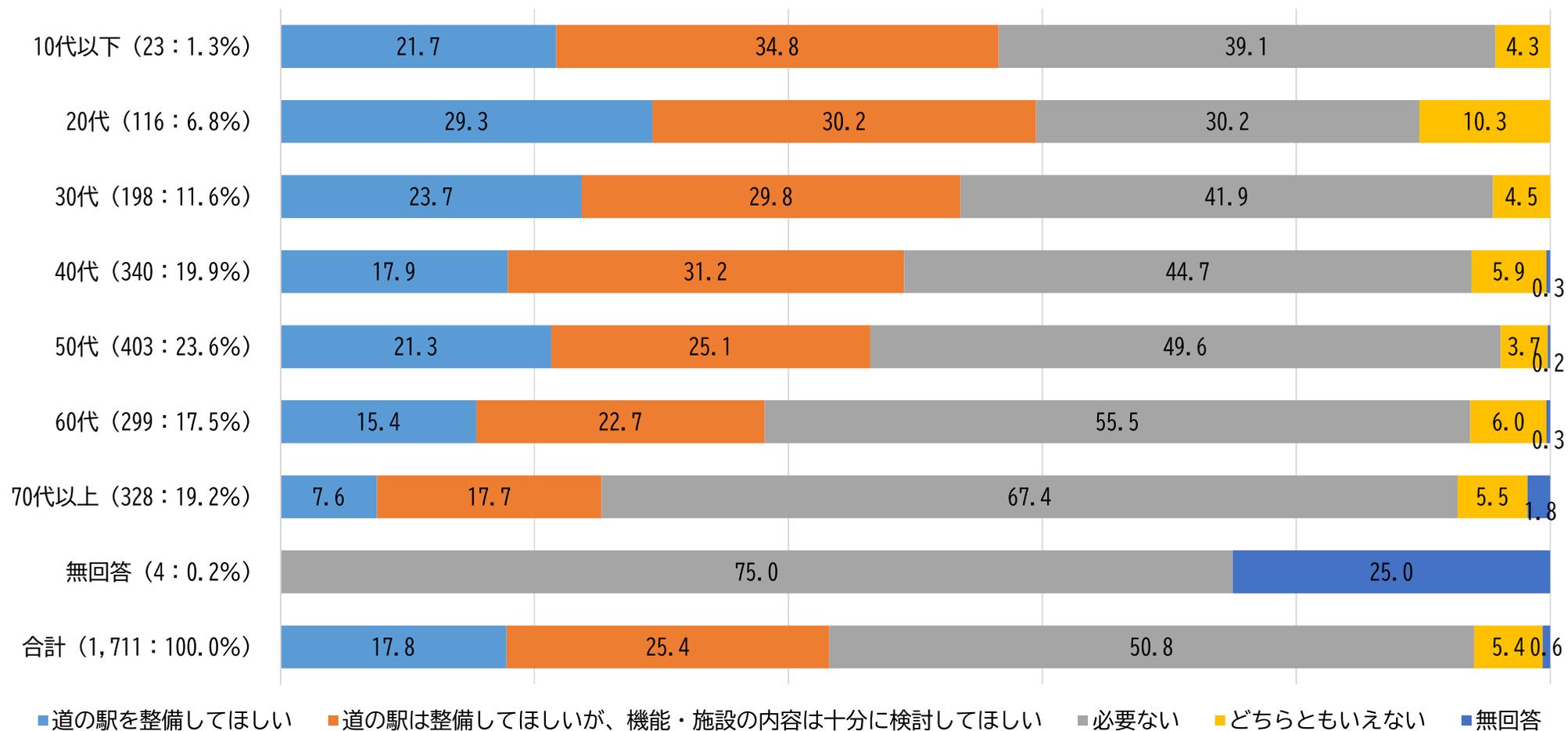
【問11】道の駅整備について どのように感じていますか。

選択肢	実数	割合
道の駅を整備してほしい	304	17.8%
道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい	435	25.4%
必要ない	869	50.8%
どちらともいえない	93	5.4%
無回答	10	0.6%
合計	1,711	100.0%



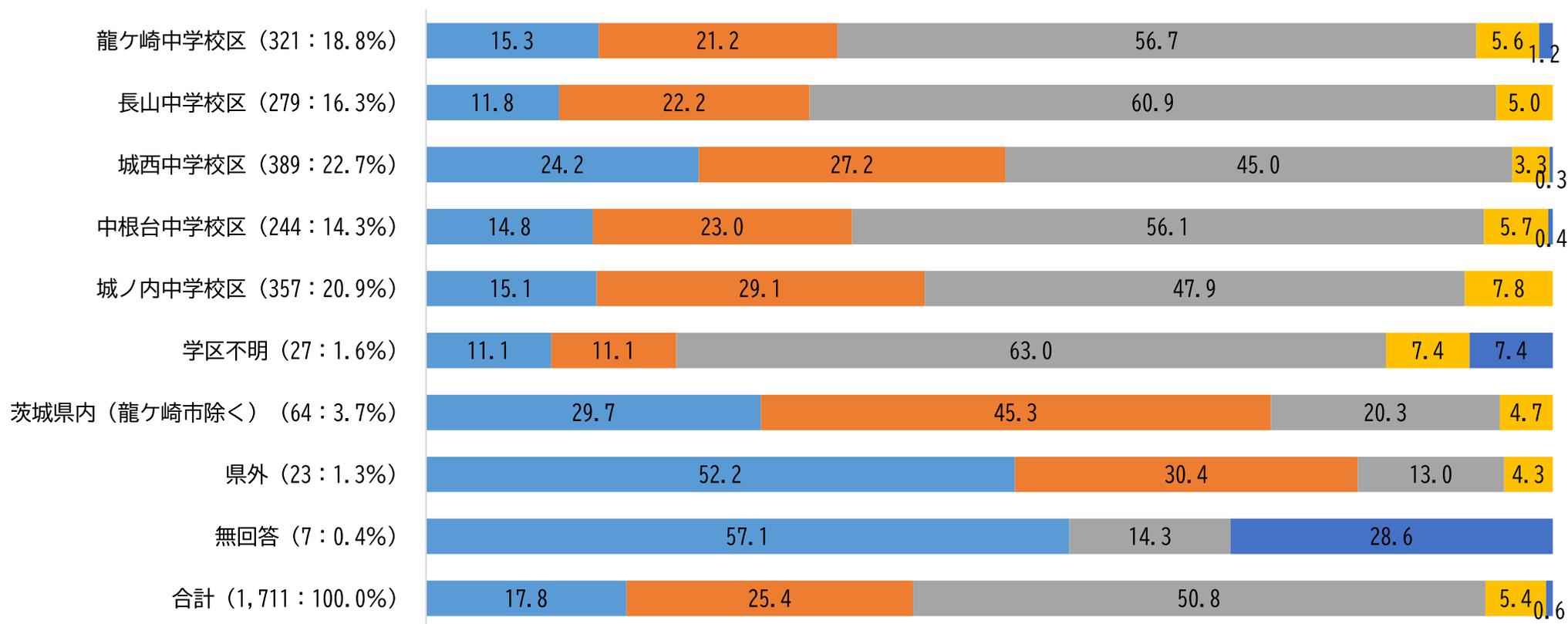
道の駅整備についてどのように感じているかについては、「必要ない」が50.8%、「道の駅を整備してほしい」、「道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい」の合計値が43.2%となっており、「必要ない」が7.6ポイント高くなっています。

【クロス集計⑦】 道の駅整備について × 年代



年代別にみると、「道の駅を整備してほしい」、「道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい」の合計値が、10代以下（56.5%）・20代（59.5%）・30代（53.5%）で5割を超えており、他の年代に比べて高くなっています。一方、「必要ない」は60代（55.5%）・70代以上（67.4%）で5割を超えており、年齢が高くなるにつれ、高い割合となる傾向にあります。

【クロス集計⑧】 道の駅整備について × 居住地

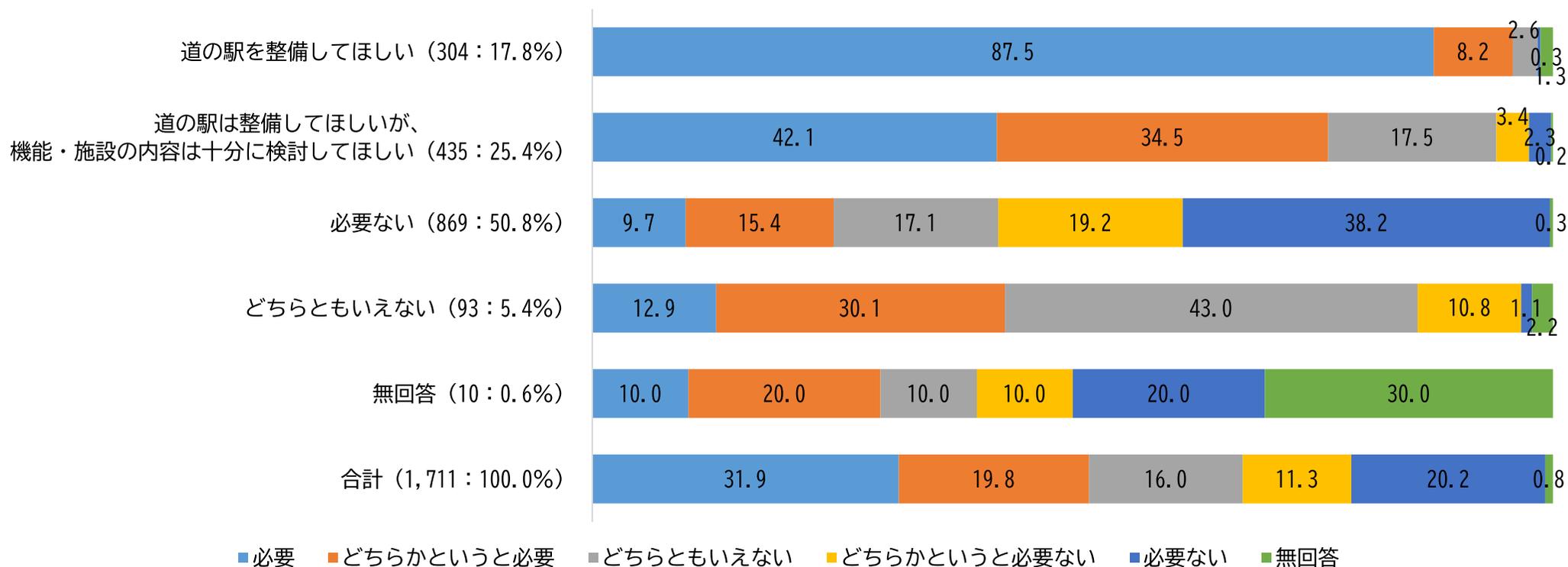


■道の駅を整備してほしい ■道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい ■必要ない ■どちらともいえない ■無回答

居住地域別にみると、「道の駅を整備してほしい」、「道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい」の合計値は、県外（82.6%）が最も高く、次いで茨城県内（龍ヶ崎市除く）（75.0%）の順になっています。

市内の居住地域別にみると、「道の駅を整備してほしい」、「道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい」の合計値は、城西中学校区（51.4%）で5割を超えており、他の居住地域に比べ高くなっています。一方、「必要ない」は、「長山中学校区」（60.9%）が最も高く、次いで龍ヶ崎中学校区（56.7%）、中根台中学校区（56.1%）の順になっています。

【クロス集計⑨】 道の駅整備について × 牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりの必要性



「道の駅を整備してほしい」と回答した方は、牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりについて、「必要」、「どちらかという必要」の合計値（95.7%）が9割を超えており、高い傾向にあります。

一方、「必要ない」と回答した方は、牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりについて、「どちらかという不必要」、「必要ない」の合計値（57.4%）が5割を超えています。

また、「どちらともいえない」と回答した方は、牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりについて、「必要」、「どちらかという必要」の合計値が43.0%、「どちらかという不必要」、「必要ない」の合計値が11.9%となっており、「必要」、「どちらかという必要」が31.1ポイント高くなっています。

【問1 2】問1 1（道の駅整備についてどのように感じていますか。）のお答えの理由を教えてください。

【問1 1】の回答別に、AIを用いたテキストマイニングによる分析から、出現頻度や重要度が高い単語を割り出して、内容を整理したうえで掲載しています。

○AIテキストマイニングとは、ある文章の中で使われている単語や文節について、AIを用いて出現頻度や重要度※を数値化し分析する手法です。

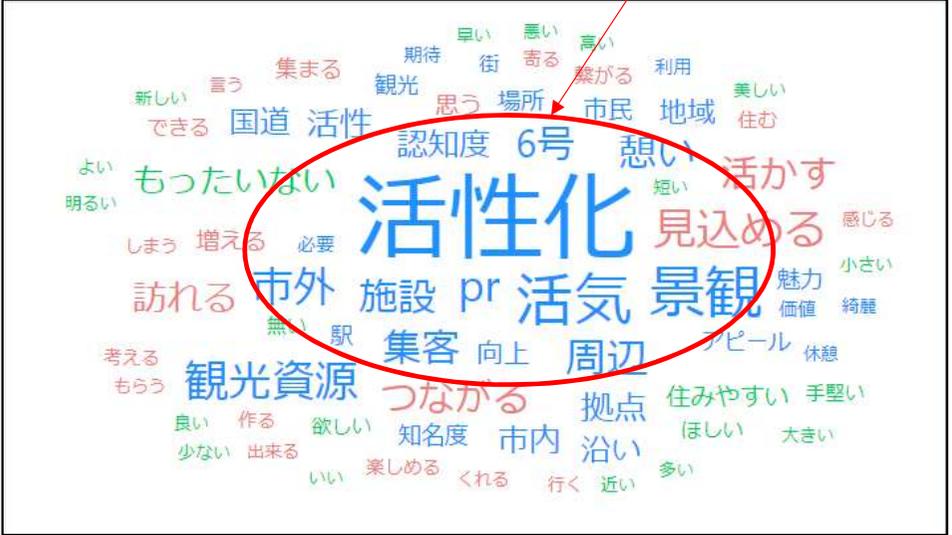
※重要度について、AIテキストマイニングでは、一般的な文章において何度も出現する単語は、重みを軽く付ける一方で、一般的な文章ではあまり出現しないが、調査対象の文章にだけよく出現する単語は重視する仕組みを取り入れて分析しています。

○分析結果について、出現頻度や重要度が高い文字は分析結果画像の中央に大きく表示されます。また、青色は名詞、赤色は動詞、緑色は形容詞、灰色は感動詞を表しています。

○今回の調査では出現頻度が高い「龍ヶ崎市」、「牛久沼」、「道の駅」、「整備」の単語はあらかじめ除外したうえで分析しています。

出現頻度や重要度が高い文字

分析結果画像の例



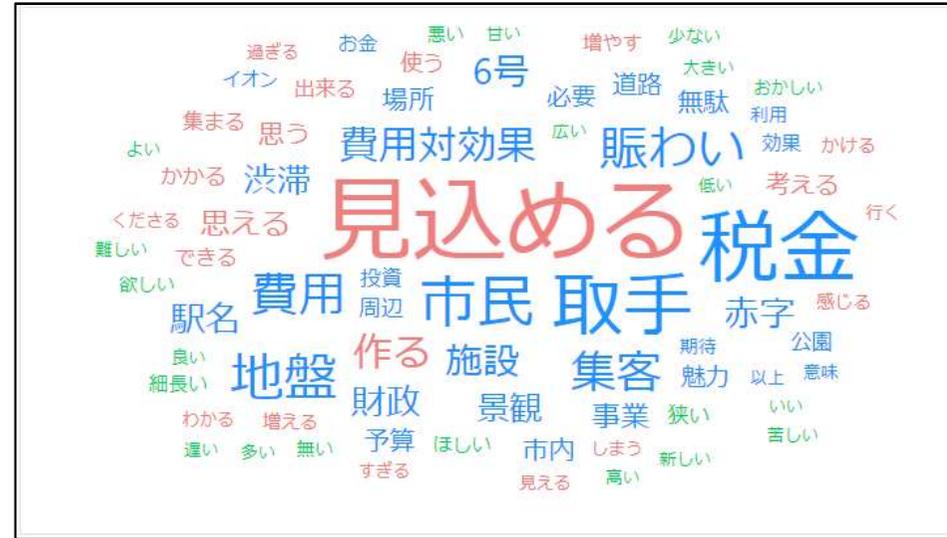
≪ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）≫

【問12】問11（道の駅整備についてどのように感じていますか。）のお答えの理由を教えてください。

「必要ない」と回答した方の主な理由です。（回答数723件）

AIテキストマイニングによる分析結果

- そこまでの多額のお金を使用してどれだけの収益を見込めるのかがイマイチ現実味がない。
- 費用対経済的効果が見込めない。
- 集客を見込めない立地と感じる。土地の整備費用他かかる費用が莫大すぎる。
- 隣町の取手市に大型商業施設を開発中なのに今更道の駅など必要ない。
- 道の駅の費用対効果に疑問。閑散としている道の駅がたくさんある。
- 費用対効果が全く期待出来ない。維持費の垂れ流しが見えます。
- 税金の無駄遣い、野菜など生産者の協力を得られない状況では長続きしない。
- 国道6号沿いで通勤時は凄く渋滞する。地盤改良しても無駄な税金使うだけだと思う。
- 税金の無駄使いをして欲しくない。もっと牛久沼の景観とか環境を整備してほしい。
- 牛久沼は遠方で町はずれです。賑わいの場所には適さないです。子ども連れて行く気にならない。
- 取手市にできる大型商業施設に人が流れていってしまい、龍ヶ崎市に道の駅ができたとして集客は見込めないと思う。
- 立地が悪い上に、1番の渋滞ポイント。通り過ぎる人が多いと思う。必要性を感じない。税金の無駄遣い。
- 市民が本当に欲しているものが他にあるはず。それは少なくとも道の駅ではない。箱ものを作って成功したためしはない。
- 道の駅に投資するよりも沼の水質改善、沼の周辺に沼を見ながら走れるサイクリングロード、遊歩道などに投資する方が市民にとっては良いと考えます。
- 若い世代を呼び込むための政策を真剣に考えてほしい、少子高齢化を意識して、市の財政負担を拡大するべきでない。



などのご意見をいただいています。

